平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名　株式会社ノリタケカンパニーリミテド　　上場取引所　東 名
コード番号　5331　URL　http://www.noritake.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小倉　忠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　執行役員　財務部長　(氏名) 加藤　博　TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日　平成25年11月14日　配当支払開始予定日　平成25年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,925	△11.5	△480	—	44	△96.2	221	△90.5
25年3月期第2四半期	47,369	△10.6	715	△53.5	1,192	△39.5	2,336	△48.7

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　4,947百万円　(520.5%)　25年3月期第2四半期　797百万円　(△80.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	1.48	—
25年3月期第2四半期	15.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	117,497	70,756	59.7	468.75
25年3月期	114,418	66,579	57.7	441.05

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　70,145百万円　25年3月期　66,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	3.00			
26年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
配当予想の修正につきましては、本日(平成25年11月7日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,000	△1.4	400	520.9	1,300	13.6	800	△51.3	5.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。
詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	158,428,497 株	25年3月期	158,428,497 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	8,784,816 株	25年3月期	8,769,552 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	149,651,043 株	25年3月期2Q	146,488,888 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の売上高は419億25百万円（前年同期比11.5%減少）、４億80百万円の営業損失、経常利益は44百万円（前年同期比96.2%減少）、四半期純利益は２億21百万円（前年同期比90.5%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

（工業機材）

国内市場では、主要顧客である鉄鋼・ベアリング業界に回復の兆しが見え始めたものの、昨年下期から続く自動車減産や電子半導体業界の回復の遅れの影響を受け、売上げは減少しました。海外市場では、米州において自動車生産が回復基調にあり、中国・東南アジアにおいても、自動車・鉄鋼生産が拡大したことに加え、円安の影響を受け、売上げは増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は、178億14百万円（前年同期比2.9%減少）、営業利益は１億56百万円（前年同期比40.4%減少）となりました。

（セラミック・マテリアル）

電子ペーストは太陽光発電用、セラミック・コンデンサー用ともに出荷量が減少したことに加え、銀価格の下落も影響し、売上げは大きく減少しました。セラミック製品は、コアや石膏は伸張しましたが、担体は北米向けの売上げが減少し、自動車向け厚膜回路基板は顧客の在庫調整の影響により売上げが減少しました。モジュール製品に特化した蛍光表示管は、アジア・国内向けの売上げが増加しました。共立マテリアル株式会社は、セラミック原料が堅調に推移したものの、電子部材のセラミック・コンデンサー用原料が振るわず、売上げが減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、140億58百万円（前年同期比14.8%減少）、営業利益は１億０百万円（前年同期比79.9%減少）となりました。

（エンジニアリング）

主力の乾燥炉及び焼成炉は、リチウムイオン電池電極材料用の市況が回復せず、スマートフォン用フィルム・電子部品向けにも注力しましたが、設備投資計画の延期や抑制の影響を受け、売上げは大きく減少しました。濾過装置は、国内、海外ともに大型物件の先送りの影響を受け、また混合・攪拌装置も低調に推移したため、いずれも売上げは減少しました。また、超硬丸鋸切断機は国内・海外ともに市況が回復せず、売上げは減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、55億48百万円（前年同期比35.1%減少）、４億77百万円の営業損失となりました。

（食器）

国内市場では、依然として百貨店向けは厳しい状況が続いているものの、ホテル・レストラン向けは緩やかに回復の兆しが見え、また、昨秋開店しましたノリタケ銀座店も拡販に寄与したことから、売上げは微増となりました。海外市場では、米国は堅調に推移し、アジアのエアライン向けが伸張し、加えて円安の影響もあり、売上げは増加しました。その結果、食器事業の売上高は、45億４百万円（前年同期比13.2%増加）、２億59百万円の営業損失となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したものの、有形固定資産が増加したことに加え、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ30億78百万円増加し、1,174億97百万円となりました。

負債は、その他有価証券評価差額金の増加により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加したものの、支払手形及び買掛金並びに流動負債のその他に含まれる設備未払金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ10億98百万円減少し、467億40百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ41億77百万円増加し、707億56百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ16億19百万円減少し、71億58百万円となりました。また、当第２四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは17億28百万円の減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、前第２四半期連結累計期間に比べ16億６百万円増加し、18億87百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が21億52百万円減少したものの、前第２四半期連結累計期間に計上した負ののれん発生益39億51百万円が現金収入を伴わないものであったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、前第２四半期連結累計期間に比べ25百万円減少し、36億15百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が16億16百万円増加したものの、投資有価証券の売却による収入が10億92百万円増加したこと及び定期預金の払戻による収入が７億17百万円増加したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は前第２四半期連結累計期間に比べ２百万円増加し、６億７百万円となりました。これは主に配当金の支払額が40百万円増加したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期連結累計期間につきましては、本日公表しました「平成26年３月期 第２四半期(累計)業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成26年３月期の通期業績予想につきましては、平成25年９月27日発表の見通しを変更しておりません。

事業環境は、円安に伴うプラス効果や景気回復への期待感の一方で、顧客の設備投資抑制や欧州・中国経済に不安定要素があり、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループとしましては、価格競争力のある新技術・新製品の開発や海外市場の開拓と現地生産による採算性の向上等の施策を着実に実行し、業績の回復と成長性の確保に努めてまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却の方法について主として定率法（ただし、平成10年４月１日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。この変更は、当社グループが経営インフラの整備を図るために進めてきたグループ会社の統廃合が完了し、その次段階である効率的な生産体制確立のための本社工場の移転を機に、当社グループの有形固定資産の使用状況を検討した結果、使用期間にわたって費用を均等に負担させる定額法が当社グループの経済的実態をより適切に反映することができると判断され、また、当社グループは海外生産拠点の拡充を計画しており、定額法を採用する在外連結子会社との会計処理の統一を図り経営管理の精度の向上にも資することから行ったものであります。

これにより、当第２四半期連結累計期間の減価償却費が560百万円減少したことから、営業損失は461百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は477百万円それぞれ増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,099	9,654
受取手形及び売掛金	26,886	24,469
商品及び製品	5,868	6,274
仕掛品	3,830	3,935
原材料及び貯蔵品	3,640	3,615
その他	1,812	1,675
貸倒引当金	△33	△43
流動資産合計	53,104	49,581
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,876	13,713
その他（純額）	22,063	22,340
有形固定資産合計	33,940	36,053
無形固定資産	480	457
投資その他の資産		
投資有価証券	23,738	27,376
その他	3,277	4,146
貸倒引当金	△122	△118
投資その他の資産合計	26,893	31,404
固定資産合計	61,314	67,915
資産合計	114,418	117,497
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,337	10,850
短期借入金	1,588	4,589
1年内返済予定の長期借入金	5,100	5,155
未払法人税等	443	477
賞与引当金	1,377	1,377
設備関係支払手形	1,551	851
その他	5,093	4,130
流動負債合計	27,491	27,431
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	5,297	2,265
退職給付引当金	1,029	1,052
その他の引当金	804	769
その他	3,214	5,220
固定負債合計	20,347	19,308
負債合計	47,839	46,740

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,832
利益剰余金	34,210	33,667
自己株式	△2,396	△2,400
株主資本合計	66,279	65,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,736	8,121
為替換算調整勘定	△5,009	△3,708
その他の包括利益累計額合計	△272	4,412
少数株主持分	572	611
純資産合計	66,579	70,756
負債純資産合計	114,418	117,497

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	47,369	41,925
売上原価	35,871	31,709
売上総利益	11,498	10,216
販売費及び一般管理費		
販売費	7,644	7,556
一般管理費	3,138	3,140
販売費及び一般管理費合計	10,782	10,696
営業利益又は営業損失（△）	715	△480
営業外収益		
受取利息	25	24
受取配当金	175	207
受取賃貸料	149	200
為替差益	―	128
持分法による投資利益	152	64
その他	143	51
営業外収益合計	646	677
営業外費用		
支払利息	74	78
為替差損	33	―
固定資産賃貸費用	40	61
その他	20	12
営業外費用合計	169	152
経常利益	1,192	44
特別利益		
固定資産売却益	0	18
投資有価証券売却益	―	750
負ののれん発生益	3,951	―
特別利益合計	3,952	769
特別損失		
固定資産処分損	647	25
減損損失	1,359	―
投資有価証券評価損	66	11
関係会社整理損	169	―
特別退職金	―	28
特別損失合計	2,242	64
税金等調整前四半期純利益	2,901	749
法人税、住民税及び事業税	443	446
法人税等調整額	24	110
法人税等合計	468	556
少数株主損益調整前四半期純利益	2,433	192
少数株主利益又は少数株主損失（△）	96	△29
四半期純利益	2,336	221

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,433	192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,626	3,369
為替換算調整勘定	△28	1,277
持分法適用会社に対する持分相当額	19	107
その他の包括利益合計	△1,636	4,754
四半期包括利益	797	4,947
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	4,907
少数株主に係る四半期包括利益	57	39

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,901	749
減価償却費	1,555	1,390
減損損失	1,359	―
負ののれん発生益	△3,951	―
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△43	2
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△23	△7
その他の引当金の増減額（△は減少）	△78	△35
受取利息及び受取配当金	△200	△231
支払利息	74	78
持分法による投資損益（△は益）	△152	△64
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	―	△750
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	66	11
有形及び無形固定資産除売却損益（△は益）	646	7
売上債権の増減額（△は増加）	1,505	2,806
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8	△68
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,933	△1,704
その他	△146	△273
小計	572	1,909
利息及び配当金の受取額	209	367
利息の支払額	△74	△81
法人税等の支払額	△426	△308
営業活動によるキャッシュ・フロー	280	1,887
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,698	△4,315
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	53
投資有価証券の取得による支出	△7	△12
投資有価証券の売却による収入	―	1,092
貸付けによる支出	△235	△7
貸付金の回収による収入	269	22
子会社株式の取得による支出	△289	―
出資金の払込による支出	―	△380
定期預金の預入による支出	△1,398	△1,633
定期預金の払戻による収入	920	1,638
その他	△222	△72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,641	△3,615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△8	2,995
長期借入金の返済による支出	―	△3,000
自己株式の取得による支出	△1	△4
配当金の支払額	△558	△598
その他	△36	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△605	△607
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	259
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,919	△2,076
現金及び現金同等物の期首残高	13,812	8,778
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	456
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,002	7,158

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	18,341	16,503	8,542	3,980	47,369
セグメント利益又はセグメント損失（△）	262	498	205	△250	715

（注）　報告セグメントの利益は、営業利益であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

（単位：百万円）

	報告セグメント					全社・消去	合　計
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計		
減損損失	296	59	22	－	378	981	1,359

（注）　本社工場の三好事業所等への移転及び営業拠点の移転に伴い、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

（重要な負ののれん発生益）

「セラミック・マテリアル」セグメントにおいて、株式交換に伴い負ののれん発生益を3,951百万円計上しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・マテリアル	エンジニアリング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	17,814	14,058	5,548	4,504	41,925
セグメント利益又はセグメント損失（△）	156	100	△477	△259	△480

（注）　報告セグメントの利益は、営業利益であります。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

平成25年11月7日

【ご参考】 平成26年3月期　第2四半期決算短信 補足資料

1．当期業績（連結）の概要

①当第2四半期決算のポイント

【業績】
売上高 419億円（前年同期比△11.5%）、営業損失 5億円、
経常利益 0.4億円、第2四半期純利益 2億円。
＊売上高は減収。営業、経常損益ともに悪化。

【連結の範囲】
連結会社　20社（1社増加）　　持分法適用会社　5社（増減なし）
＊連結会社の増加は、Noritake SA (Thailand) Co., Ltd.の新規連結によるもの。

【為替の影響】
16.1円の円安（前期 79.8円→当期 95.9円）により、売上高15億円、経常利益10億円増加。

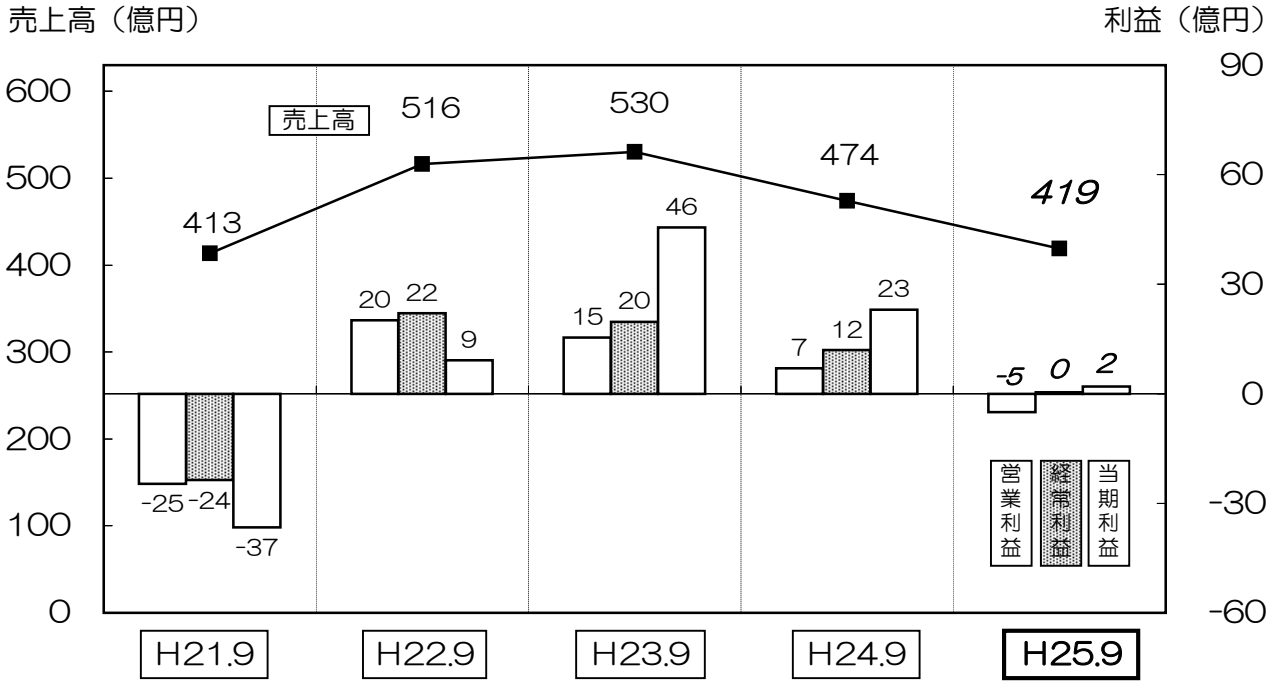
【特別損益】
特別利益　7.7億円：　投資有価証券売却益 7.5億円、固定資産売却益0.2億円。
特別損失　0.6億円：　固定資産処分損 0.2億円、特別退職金0.3億円など。

【中間配当金】
中間配当3.0円／株　（前期中間4.0円／株、前期期末4.0円／株）

②期別業績推移

（単位：億円 四捨五入）

	H21.9		H22.9		H23.9		H24.9		H25.9	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売　上　高	413	△38.2%	516	+24.9%	530	+2.7%	474	△10.6%	419	△11.5%
営 業 利 益	△ 25	－	20	－	15	△23.4%	7	△53.5%	△ 5	－
経 常 利 益	△ 24	－	22	－	20	△10.7%	12	△39.5%	0	△96.2%
特 別 損 益	△ 10	－	△ 4	－	36	－	17	－	7	－
税 前 利 益	△ 33	－	18	－	56	+211.3%	29	△47.8%	7	△74.2%
当 期 利 益	△ 37	－	9	－	46	+394.7%	23	△48.7%	2	△90.5%
US$為替	96.0円		91.0 円		81.8 円		79.8 円		95.9 円	



③人員数

（単位：人）

	前期末（H25.3）			当第２四半期末（H25.9）			
	正規	非正規	合計	正規	非正規	合計	前期比
単　　独	1,910	605	2,515	1,933	579	2,512	△ 3
国内グループ	796	209	1,005	807	193	1,000	△ 5
海外グループ	1,298	213	1,511	1,362	304	1,666	155
合　　計	4,004	1,027	5,031	4,102	1,076	5,178	147

（注）正規、非正規ともに期末人員数。非正規には、パート及び嘱託のほか、派遣社員も含めている。

④設備投資

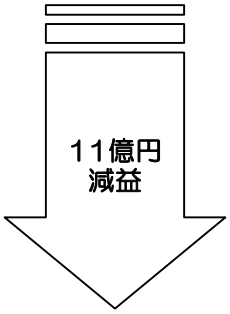
（単位：億円）

	前年同期（H24.9）		当第２四半期（H25.9）	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工 業 機 材	17	7	17	7
ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	7	5	3	3
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	1	1	1	1
食　　器	1	1	1	1
管 理 部 門	13	2	3	2
合　　計	39	16	25	14

（注）当期における主な実施案件：　本社工場移転　10億円
砥石製造設備　　7億円　（国内　6億円、海外　2億円）

⑤経常利益の増減要因

H24年9月期 経常利益　12億円



増加要因	12 億円
合理化・改善の効果	1 億円
一般管理費･販売費の減少	1 億円
為替の影響	10 億円
減少要因	23 億円
売上高の減少	12 億円
稼働率の低下	9 億円
工場移転費用	2 億円

H25年9月期 経常利益　0.4億円

⑥セグメント別業績

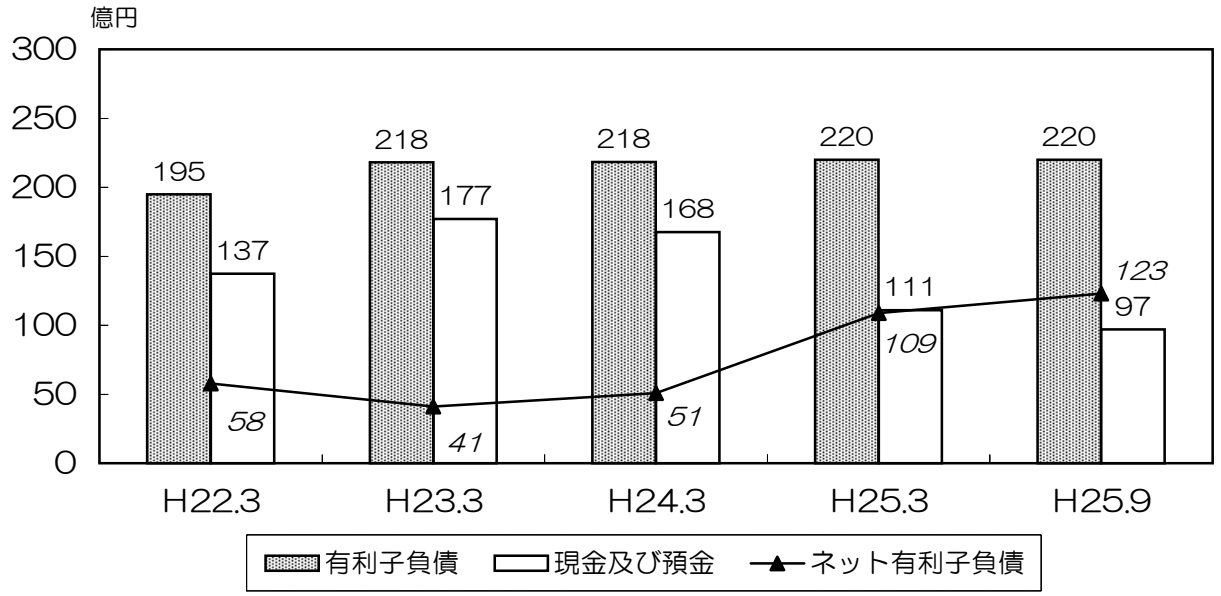
（単位：億円）

セグメント	前年同期（H24.9）				当第２四半期（H25.9）				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比(%)	金額	利益率	金額	前期比	構成比(%)	金額	利益率
工 業 機 材	183	39	2.6	1.4%	178	△2.9%	42	1.6	0.9%
ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	165	35	5.0	3.0%	141	△14.8%	34	1.0	0.7%
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	85	18	2.1	2.4%	55	△35.1%	13	△ 4.8	△8.6%
食　　器	40	8	△ 2.5	△6.3%	45	+13.2%	11	△ 2.6	△5.8%
合　　計	474	100	7.2	1.5%	419	△11.5%	100	△ 4.8	△1.1%

⑦有利子負債

（単位：億円）

	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3	H25.9
有利子負債	195	218	218	220	220
現金及び預金	137	177	168	111	97
ネット有利子負債	58	41	51	109	123



2．業績予想（連結）の概要

①重点施策

1）価格競争力のある新技術・新商品を開発し、売上拡大を図る。
・ダイヤモンドワイヤーの高性能化をはじめとする差別化技術の確立と用途開発
・電子ペーストの材料技術による差別化商品の確立とジルコニア等の超微粒原材料の新商品の開発
・各種電池材料や樹脂フィルムの熱処理設備の新用途開発と拡販
・高額食器の商品開発と上質日常食器シェールブランの商品拡充と拡販

2）海外生産拠点の整備を進め、海外市場の開拓と採算性の向上を図る。
①海外生産拠点の整備と早期安定稼動
・Noritake SA (Thailand) Co., Ltd.（タイ）、Noritake Abrasives (Suzhou) Co., Ltd.（中国）
②東アジア、アセアン諸国及び北米市場の開拓

3）効果的で効率的な経営体制及びインフラの整備を推進する。
・ものづくり強化活動の推進

設備投資　53億円　（H25年3月期実績 83億円）
減価償却費　30億円　（H25年3月期実績 34億円）

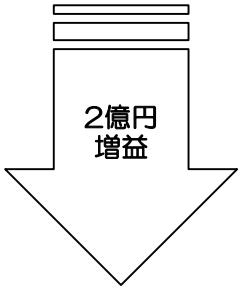
②業績予想

（単位：億円 四捨五入）

	H25年3月期			H26年3月期 （予想）				
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	通期増減	増減率
売　上　高	474	429	902	419	471	890	△ 12	△1.4%
営 業 利 益	7	△ 6	1	△ 5	9	4	3	+520.9%
経 常 利 益	12	△ 1	11	0	13	13	2	+13.6%
特 別 損 益	17	△ 2	15	7	△ 2	5	△ 10	－
税 前 利 益	29	△ 2	27	7	11	18	△ 9	△33.2%
当 期 純 利 益	23	△ 7	16	2	6	8	△ 8	△51.3%
US$為替	80.1円			95.0円			14.9円の円安	

③経常利益の増減要因（予想）

H25年3月期 経常利益　11億円



H26年3月期 経常利益　13億円

増加要因	19 億円
合理化・改善の効果	2 億円
一般管理費・販売費の減少	2 億円
為替の影響	15 億円
減少要因	17 億円
売上高の減少	4 億円
稼働率の低下	10 億円
工場移転費用	3 億円

④セグメント別業績予想

（単位：億円）

セグメント	H25年3月期				H26年3月期（予想）				
	売上高		営業利益		売上高			営業利益	
	金額	構成比(%)	金額	利益率	金額	前期比	構成比(%)	金額	利益率
工 業 機 材	354	39	△ 0.9	△0.2%	370	+4.4%	41	6.0	1.8%
ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	306	34	6.4	2.1%	290	△5.2%	33	8.0	2.7%
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	159	18	△ 0.4	△0.3%	140	△12.1%	16	△ 6.0	△4.3%
食　　器	83	9	△ 4.5	△5.4%	90	+8.6%	10	△ 4.0	△4.6%
合　計	902	100	0.6	0.1%	890	△1.4%	100	4.0	0.5%

以　上